

田越川流域治水協議会、森戸川流域治水協議会、酒匂川流域治水協議会、山王川流域治水協議会、及び、早川流域治水協議会  
合同開催

日 時：令和8年3月18日（水）

場 所：書面による開催

議 題

1) 協議会規約（案）について

資料1

2) 流域治水プロジェクト（案）について

資料2

3) 流域治水プロジェクト取組事例集（案）について

資料3

※ 上記の議題について、別紙「意向意見書」へ御意見等を記入し、令和8年3月25日（水）までに事務局へ送付してください。

## 酒匂川流域治水協議会 規 約

(名称)

第 1 条 この会議は、「酒匂川流域治水協議会」（以下「協議会」という。）と称する。

(目的)

第 2 条 本協議会は、令和元年東日本台風をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、酒匂川流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策、いわゆる「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的とする。

(協議会の構成)

第 3 条 協議会は、別表 1 の職にある者をもって構成する。

2 協議会の運営、進行及び招集は、事務局が行う。

3 事務局は、第 1 項による者のほか、協議会構成員の同意を得て、必要に応じて別表 1 の職にある者以外の者の参加を協議会に求めることができる。

4 協議会は、必要に応じて第 1 項の協議会構成員の一部又は指名する者等からなる幹事会や特定課題を検討するための専門部会を設置し、協議会の実施事項の一部を行わせることができる。

(協議会の実施事項)

第 4 条 協議会は、次の各号に掲げる事項を実施する。

(1) 酒匂川水系で行う流域治水の全体像を共有・検討

(2) 氾濫をできるだけ防ぐ対策、被害対象を減少させるための対策、被害の軽減・早期復旧・復興のための対策を含む「流域治水プロジェクト」の策定と実施に関する協議

(3) 「流域治水プロジェクト」にもとづく対策の実施状況のフォローアップ

(4) その他、酒匂川水系における治水に関する必要な事項

(事務局)

第 5 条 協議会及び幹事会の事務局は、神奈川県県土整備局河川下水道部河港課に置く。

(雑則)

第 6 条 この規約に定めるもののほか、協議会の議事の手続その他運営に関し必要な事項については、協議会で定めるものとする。

(附則)

第 7 条 本規約は、令和 3 年 3 月 26 日から施行する。

本規約は、令和 3 年 9 月 13 日に改定する。

本規約は、令和 5 年 3 月 24 日に改正する。

本規約は、令和 7 年 3 月 21 日に改定する。

本規約は、令和8年3月 日に改定する。

別表1

(協議会構成員)

自治体名	協議会委員	幹事会幹事	備考
神奈川県	くらし安全防災局 防災部 危機管理防災課長	応急対策グループ グループリーダー	
	環境農政局 総務室 企画調整担当課長	企画調整グループ グループリーダー	
	環境農政局 緑政部 森林再生課長	基盤整備グループ グループリーダー	
	環境農政局 農水産部 農地課長	農地企画グループ グループリーダー	
	県土整備局 都市部 都市計画課長	都市企画グループ グループリーダー	
	県土整備局 都市部 都市整備課長	土地区画整理グループ グループリーダー	
	県土整備局 都市部 都市公園課長	整備運営グループ グループリーダー	
	県土整備局 道路部 道路企画課長	計画グループ グループリーダー	
	県土整備局 河川下水道部 河港課長	河川調査グループ グループリーダー	事務局
		河川整備グループ グループリーダー	
	県土整備局 河川下水道部 防災なぎさ担当課長	河川防災グループ グループリーダー	
		なぎさグループ グループリーダー	
	県土整備局 河川下水道部 砂防課長	砂防・急傾斜地グループ グループリーダー	
		土砂対策グループ グループリーダー	
	県土整備局 河川下水道部 下水道課長	公共下水道グループ グループリーダー	
	県土整備局 建築住宅部 住宅計画課長	住宅企画グループ グループリーダー	
	県土整備局 建築住宅部 建築指導課長	開発指導グループ グループリーダー	
	県土整備局 平塚土木事務所長	河川砂防第一課長	
	県土整備局 県西土木事務所長	河川砂防第一課長	
県土整備局 県西土木事務所 小田原土木センター所長	河川砂防第一課長		

	県土整備局 三保ダム管理事務所長	水運用課長	
	企業庁 企業局 利水電気部 利水課長	ダム管理グループ グループリーダー	
	企業庁 企業局 酒匂川水系ダム管理事務所長	工務課長	
	教育局 総務室 管理担当課長	総務グループ グループリーダー	
小田原市	建設部長	道水路整備課長	窓口担当
		国県事業推進課長	
		建設部副部長 (みどり公園課長事務取扱)	
		建築課長	
	上下水道局長	下水道整備課長	
	都市部長	都市計画課長	
		開発審査課長	
		建築指導課長	
	防災部長	防災部副部長 (防災対策課長事務取扱)	
農林業振興担当部長	農政課長		
秦野市	くらし安心部長	防災課長	
	環境産業部長	農業振興課長	
		森林ふれあい課長	
	都市部長	まちづくり計画課長	
上下水道局長	下水道施設課長	窓口担当	
南足柄市	都市部長	都市整備課長	窓口担当
		都市計画課長	
		上下水道課長	
	環境経済部長	農林振興課長	
	総務防災部長	防災安全課長	
	教育部長	教育総務課長	
大井町	防災安全課長	防災安全課長	

	生活環境課長	生活環境課長	
	地域振興課長	地域振興課長	
	都市整備課長	都市整備課長	窓口担当
松田町	まちづくり課長	まちづくり課長	窓口担当
	安全防災担当室長	安全防災担当室長	
	環境上下水道課長	環境上下水道課長	
	教育課長	教育課長	
山北町	地域防災課長	地域防災課長	
	都市整備課長	都市整備課長	窓口担当
	農林課長	農林課長	
	上下水道課長	上下水道課長	
開成町	地域防災課長	地域防災課長	窓口担当
	都市整備課長	都市整備課長	
	産業振興課長	産業振興課長	
	林野庁 関東森林管理局 東京神奈川森林管理署長	治山グループ 総括治山技術官	
農林水産省	関東地方整備局 京浜河川事務所 地域防災調整官（海岸）	地域防災調整官（海岸）	
国土交通省			

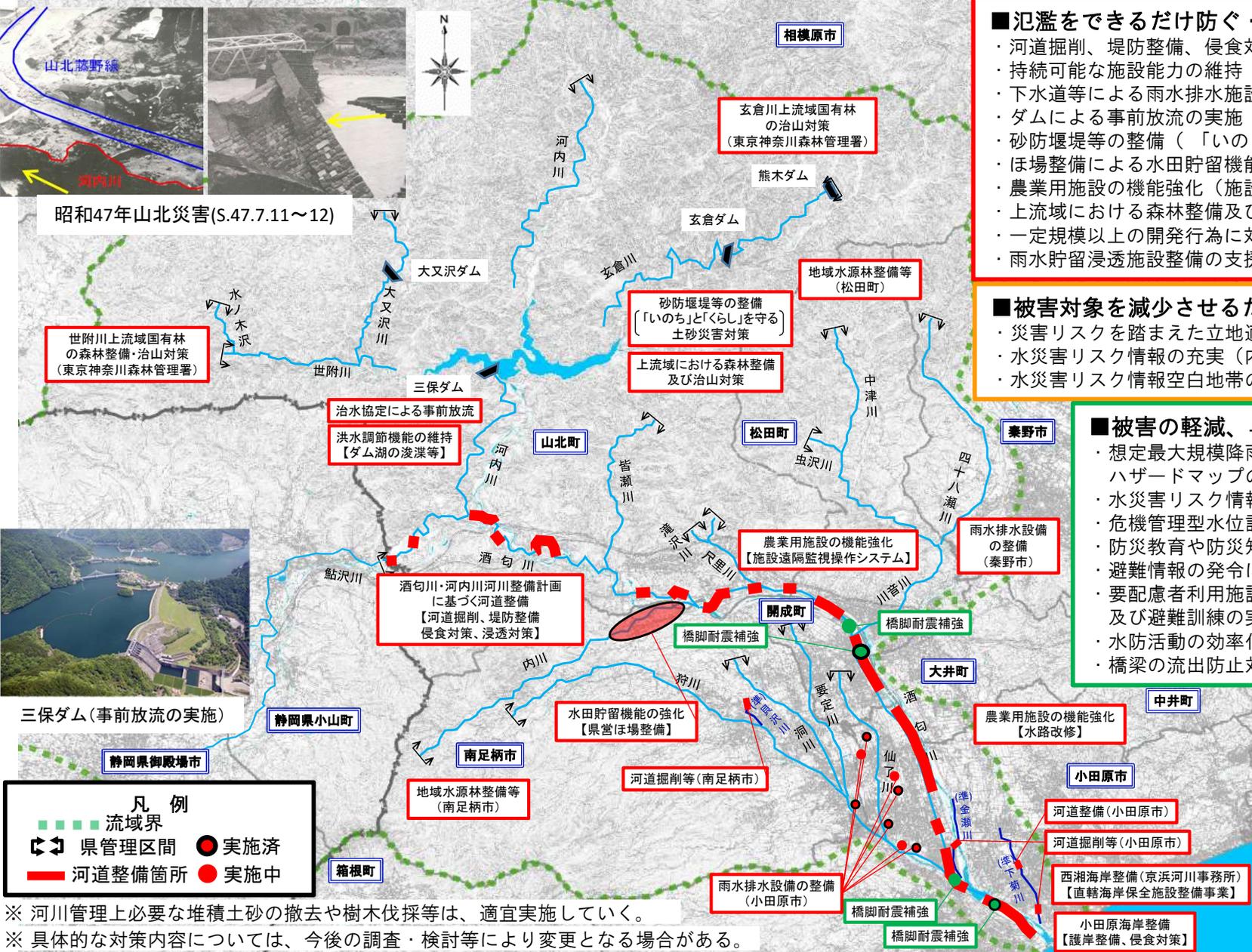
(オブザーバー)

静岡県 交通基盤部 河川砂防局 河川企画課

静岡県 交通基盤部 沼津土木事務所 企画検査課

～河道掘削、堤防整備等により浸水被害の軽減及び流域治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、酒匂川水系においても、ハード・ソフト一体となった実効性のある事前防災対策を加速していくために、以下の取組を実施していくことで、酒匂川本川においては年超過確率1/100（日雨量355mm）の規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



**■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**

- ・ 河道掘削、堤防整備、侵食対策、浸透対策
- ・ 持続可能な施設能力の維持（河道内やダム湖における堆積土砂の撤去等）
- ・ 下水道等による雨水排水施設の整備
- ・ ダムによる事前放流の実施
- ・ 砂防堰堤等の整備（「いのち」と「くらし」を守る土砂災害対策）
- ・ ほ場整備による水田貯留機能の向上
- ・ 農業用施設の機能強化（施設遠隔監視システム、水路整備）
- ・ 上流域における森林整備及び治山対策
- ・ 一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置義務づけ
- ・ 雨水貯留浸透施設整備の支援制度

**■ 被害対象を減少させるための対策**

- ・ 災害リスクを踏まえた立地適正化計画の推進と立地抑制・移転の誘導
- ・ 水災害リスク情報の充実（内水浸水想定区域図等）
- ・ 水災害リスク情報空白地帯の解消（土砂災害警戒区域等）

**■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**

- ・ 想定最大規模降雨による洪水や土砂災害等を対象としたハザードマップの改良、周知、活用
- ・ 水災害リスク情報の充実、水災害リスクの情報空白地帯の解消
- ・ 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ等の設置・更新
- ・ 防災教育や防災知識の普及
- ・ 避難情報の発令に着目したタイムラインの検証・見直し
- ・ 要配慮者利用施設への対応等を考慮した避難計画の作成及び避難訓練の実施
- ・ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に向けた取組
- ・ 橋梁の流出防止対策（橋脚耐震補強）



※ 河川管理上必要な堆積土砂の撤去や樹木伐採等は、適宜実施していく。  
 ※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 酒匂川水系では、県、市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
  - 【短期】 河川における対策と合わせて、農業用排水施設の機能強化や森林整備・治山対策等を進める。
  - 【中期・中長期】 引き続き、取組み事業を進めると共に、河川における対策として、河道掘削、堤防整備、侵食対策、浸透対策等を完成させる。
- あわせて、治水協定に基づくダムの事前放流を実施すると共に、立地適正化計画の推進及び立地抑制・移転の誘導等を進める。また、避難体制の強化や観測機器の設置拡大等によるソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、侵食対策、浸透対策	神奈川県	酒匂川・河内川河川整備計画に基づく河川整備		
	護岸整備(準用河川)、河道掘削(準用河川)	小田原市	下菊川護岸整備 下菊川等河道掘削		
	ダムによる事前放流の実施	神奈川県	治水協定に基づく事前放流を実施		
	雨水排水施設の整備	小田原市 秦野市	寺下第一雨水幹線等整備		
			第2号公共下水道事業		
	水田の貯留機能の向上	神奈川県	県営ほ場整備事業		
	農業用排水施設に係る機能強化	神奈川県	湛水防除事業 等		
上流域の森林整備等	東京神奈川森林管理署 神奈川県、 南足柄市、松田町	水源かん養又は山地災害防止の機能維持増進を図るための森林整備及び治山対策			
		地域水源林整備			
被害対象を減少させるための対策	水災害リスク情報の充実(水災害リスク情報空白地帯の解消)(内水浸水想定区域)	神奈川県、小田原市 秦野市、南足柄市	ハザードマップへの内水浸水想定区域等の反映、周知		
	リスクが高い区域における立地抑制・移転誘導(立地適正化計画の推進)	小田原市、秦野市 南足柄市、松田町	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の推進及び立地抑制・移転の誘導		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ソフト対策のための整備	神奈川県	危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ等の観測機器の設置拡大		
	避難体制等の強化	小田原市、秦野市 南足柄市、大井町 松田町、山北町 開成町	大規模氾濫減災協議会における取組方針に基づき実施		
	渡河部の橋梁に係る流出防止対策	神奈川県	橋脚耐震補強		

気候変動を踏まえた  
更なる対策を推進

(案)

# 流域治水プロジェクトの取組事例集 (酒匂川水系)

(酒匂川流域治水協議会)

- 酒匂川水系酒匂川においては、酒匂川水系酒匂川・河内川河川整備計画を令和4年3月に策定し、日雨量355mmの降雨による洪水を安全に流下させるため、河道整備（河道掘削、堤防整備、護岸整備）を進めている。
- 酒匂川の新十文字橋から新大口橋までの約3km区間については、護岸の整備等を行い、治水安全度の向上に取り組んでいます。

### 実施状況

#### ■河道整備の一例

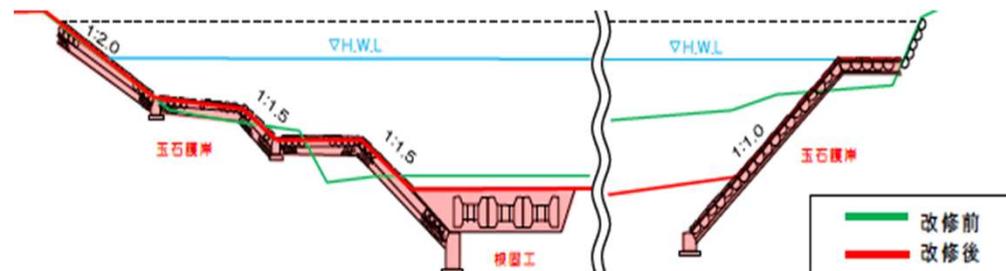
##### 位置図



##### 事業の内容

- 1)事業区間 新十文字橋～新大口橋
- 2)事業延長 L=2.92km
- 3)主な工種 築堤工、護岸整備

##### 横断面図



##### 平面図



整備後



整備後

対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
河川改修事業による河道整備	神奈川県	▶		

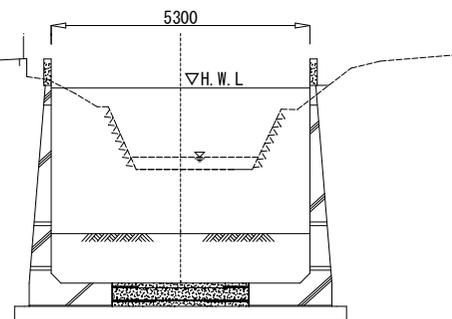
酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体  
神奈川県、小田原市

- 準用河川下菊川においては、台風や局地的豪雨により浸水被害のリスク解消を目的に、県道719号（鴨宮停車場）上流の人道橋から市道0051までの1596m区間について、時間雨量50mmの降雨を安全に流下させるため、護岸整備を行う。

### 実施状況



整備イメージ



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
準用河川改修事業における河道整備	小田原市	➡		

酒匂川流域において、上記と類似・同様な取組を実施している自治体  
**小田原市、神奈川県**

- 酒匂川水系狩川では、台風による浸水被害が発生したことから、酒匂川合流点から山道橋までの約3 km 区間において、河道の掘削を行い、治水安全度の向上を図っている。

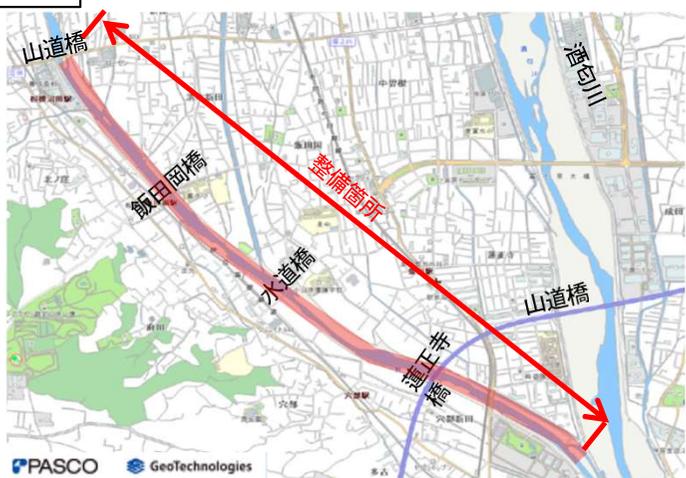
実施状況

■ 河道掘削の一例

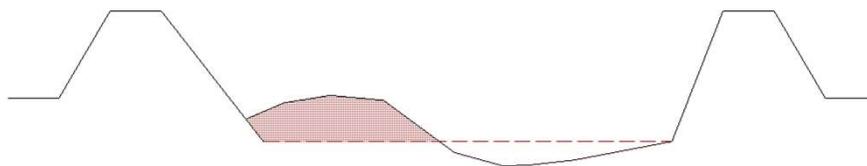
位置図



平面図



横断面図



整備前



整備後

対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
河道内の堆積土砂の撤去	神奈川県	→		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体  
神奈川県、小田原市

- 酒匂川においては、台風等による堆積土砂の撤去を進め、治水・利水安全度の回復維持に取り組んでいる。
- 堆積土砂の撤去により発生した土砂の一部については、海岸背後地を波浪災害から守るために、漁業関係者と協議の上、養浜事業に利用している。

## 実施状況

### 概要図



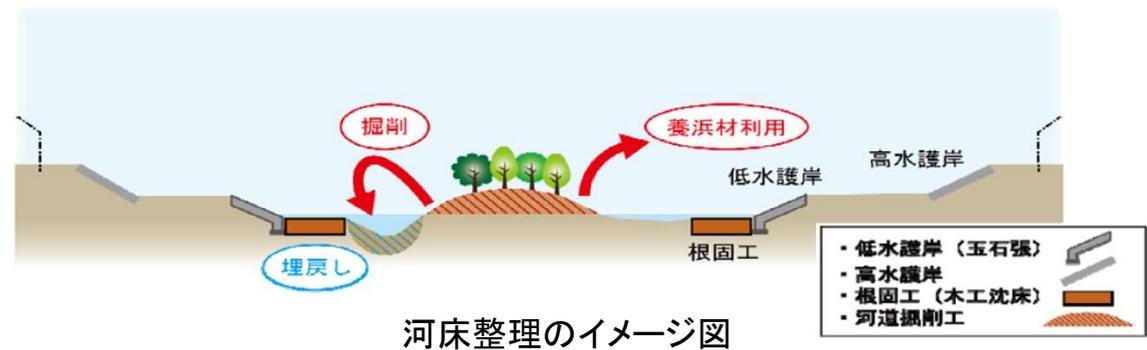
堆積状況



堆積土砂の撤去状況



養浜事業へ利用



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
河道内の堆積土砂の撤去	神奈川県	→		

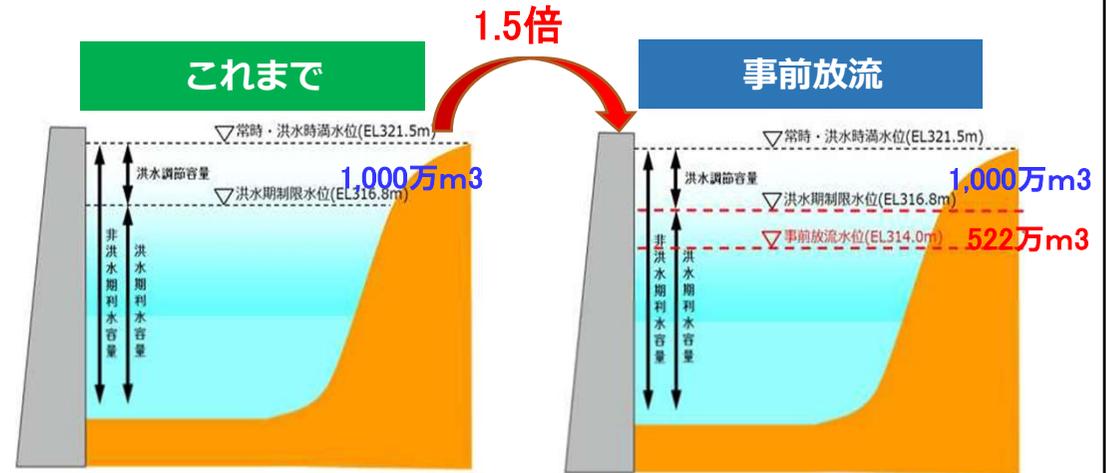
酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

神奈川県

- 神奈川県では、台風の接近などにより大雨となることが見込まれる場合に、より多くの水をダムに貯められるよう、河川の水量が増える前にダムから放流して、一時的にダムの貯水位を下げしておく「事前放流」を行っている。
- 三保ダムについては、ダム上流域で560mm（/24時間）以上の降雨が予測される場合は、事前放流によりダム貯水位を事前放流水位まで低下させ、更に洪水調節容量を確保している。

## 実施状況

### ■ 洪水調節容量について



基準降雨量以上の降雨が予測される場合、事前放流を行うことにより、洪水調節容量が、従来の約 1.5 倍となる。

既存ダム	有効貯水容量 (万m³)	洪水調節容量 (万m³)	洪水調節可能容量 (万m³)	基準降雨量 (mm/24h)
三保ダム	5,450	1,000	522*	560
玄倉ダム	4.3	0	0	-
熊木ダム	4.8	0	0	-
大又沢ダム	1.3	0	0	-

※ 洪水流量である 800 m³/s を放流可能な水位までの容量。

対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
ダムによる事前放流の実施	神奈川県	→		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

神奈川県

- 寺下第一雨水幹線等は、酒匂川流域関連小田原公共下水道事業計画に基づき、時間雨量57mmの降雨による雨水を安全に排除するため、雨水渠整備を進めている。
- 寺下第一雨水幹線の栢山地内から曾比地内までの0.73km区間については、雨水渠整備を行い、内水氾濫への安全度の向上に取り組んでいる。

### 実施状況

#### ■ 雨水排水施設整備の一例

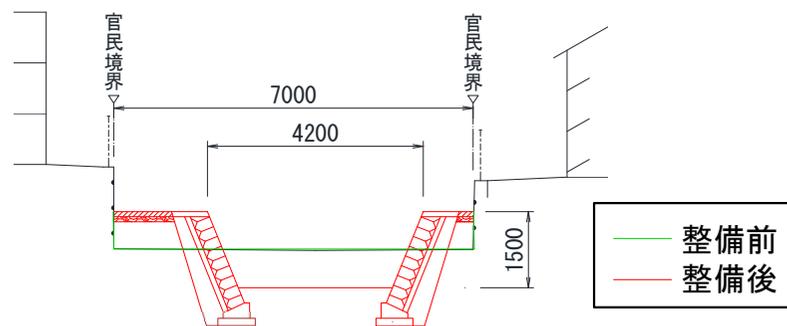
##### 位置図



##### 平面図



##### 横断面図



#### 事業の内容

- 1) 事業区間 栢山地内 ~ 曾比地内
- 2) 事業延長 L=0.73 km
- 3) 主な工種 雨水渠整備



整備前



整備後

対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
寺下第一雨水幹線等の整備	小田原市	→		

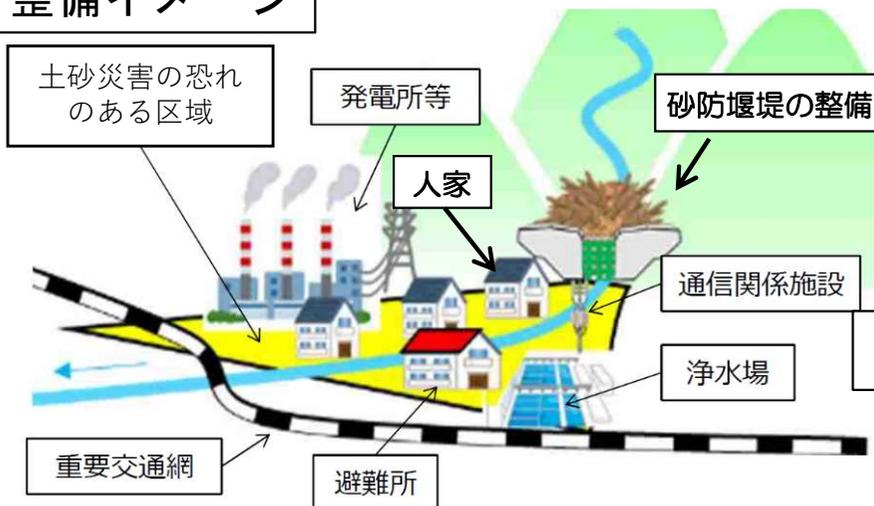
酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

小田原市、秦野市

- 酒匂川流域における溪流浸食・溪岸崩壊がみられ荒廃が進んでいる溪流は、今後の豪雨等により土石流が発生する恐れがあり、土石流が発生した場合、土石流が氾濫する区域内にある人家等に被害を及ぼす恐れがあるため、砂防事業により砂防堰堤の整備を進めている。

### 実施状況

#### 整備イメージ



#### 現地状況



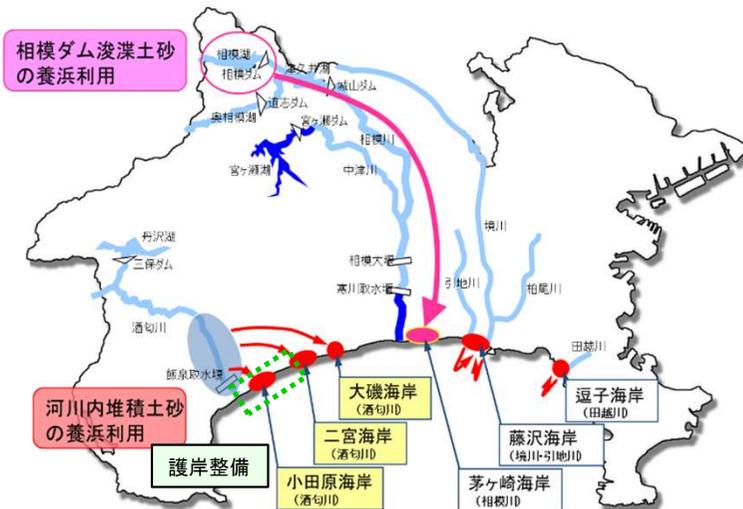
#### 砂防堰堤の整備例



- 相模湾、河川からの土砂供給量の減少などにより海岸侵食が進んだことから、県は、砂浜の回復・保全を図り、将来に渡る「美しいなぎさの継承」を目指し、平成23年3月に相模湾沿岸海岸侵食対策計画（令和3年3月改定）を策定し、養浜を主体とした、海岸侵食対策に取り組んでいる。
- 令和元年の台風第19号で越波被害のあった、小田原海岸において、高潮対策として護岸改良に取り組んでいる。

### 実施状況

#### ■ 小田原海岸における護岸整備、侵食対策

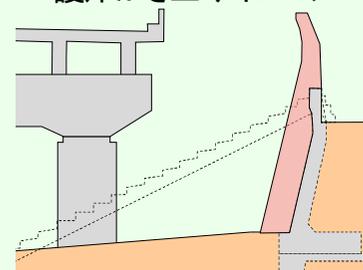


#### ■ 侵食対策(養浜)



#### ■ 護岸整備

##### 護岸かさ上げイメージ



#### ■ 被災状況



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
小田原海岸における護岸整備、侵食対策	神奈川県	→		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体  
**神奈川県、京浜河川事務所(関東地方整備局)**

- 秦野市では、区域面積5,000㎡以上の開発行為又は建築行為等を行う場合は、原則として雨水調整施設等を設置することにより、流域の雨水貯留機能の向上に努めている。
- また、秦野市では、家庭用雨水浸透ますの設置者に対し補助金を交付することについて、秦野市家庭用雨水浸透ます設置補助金交付要綱を定めている。

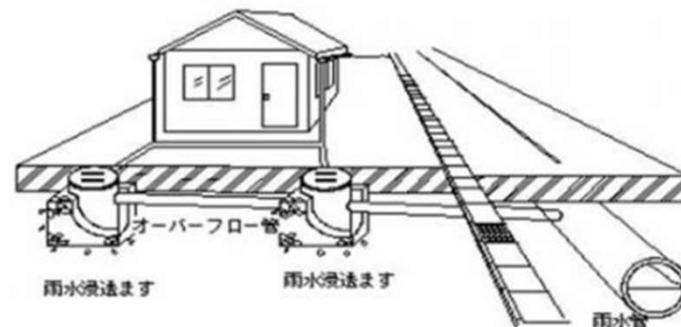
## 実施状況

### 雨水調整施設等設置基準

- 雨水調整施設
    - ・ 開発面積が5,000㎡以上の開発行為には雨水調整施設を設置（但し、大根川流域での雨水調整施設の設置は開発面積が1,000㎡以上など）
  - 雨水浸透施設
    - ・ いっ水防止のため周辺に影響がなく、地質により浸透する場合は、積極的に実施
- (1) 雨水浸透施設は、トレンチ式、立て穴式、底床式
  - (2) 雨水浸透容量は、現地実験値及び既設箇所値を検討し決定
  - (3) 設置場所は、宅地内を原則
  - (4) 開発面積が、1000平方メートル以上の事業所等は設置する

### 家庭用雨水浸透ますの設置補助

- ・ 設置金額の2分の1（1宅地に4基まで、1基の限度額1万2,500円）
- ・ 新築以外でも補助対象



「家庭用雨水浸透ます」のイメージ図

対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
雨水貯留浸透施設の整備	秦野市	▶		

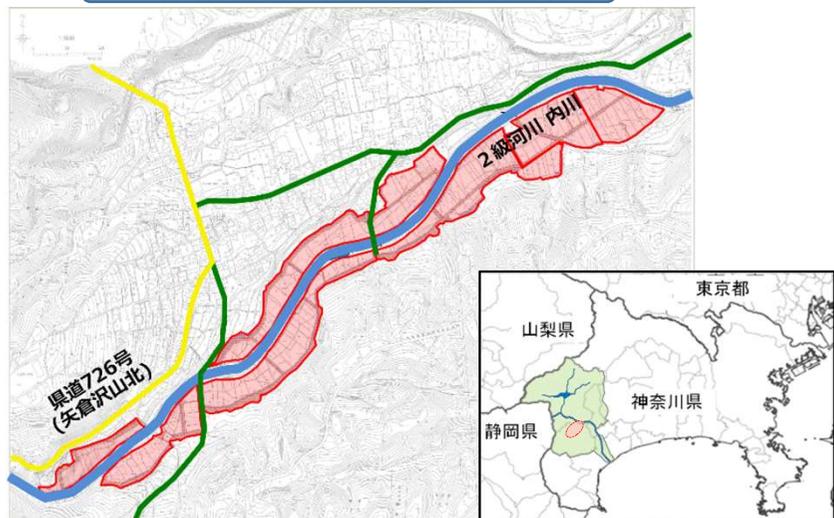
酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

秦野市、小田原市

- 酒匂川水系内川において、約2km、幅200mに広がる水田地帯は、狭小・不整形な水田区画であり、かつ、整備のされていない農道や用排水路など、営農条件が著しく低く、水稻の生育管理をはじめ、農道や水路の維持管理等に多大な労力を要していた。
- このため、水田のほ場整備を行うことにより、農地の集積・集約を促進するとともに、地域農業の維持継続・活性化を図る。

### 実施状況

県営ほ場整備事業 事業計画概要図



整備前の営農状況  
不整形な区画



整備後の営農状況



整備前の営農状況

急勾配で小区画 幅の狭い農道



整備後の営農状況



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
県営ほ場整備事業	神奈川県	▶		

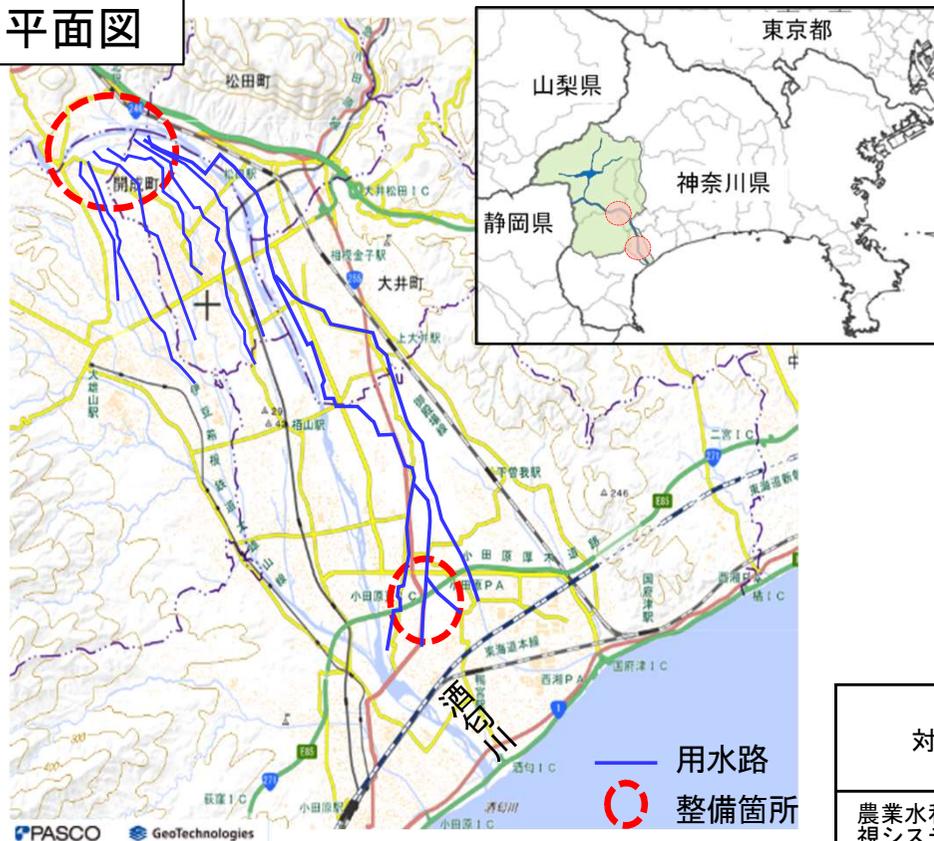
酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

神奈川県

- 近年、頻発化・激甚化する豪雨による周辺地域からの排水が増大しており、農業用水路に流入した排水を迅速、かつ、安全に流下させるための水門操作に係る地元の維持管理への負担が増大している。
- このため、農業用水門を自動転倒ゲートに改修するとともに、農業用水門の遠隔操作施設や農業用水路の水位監視施設を設置することにより、維持管理労力を低減し、湛水被害の未然防止を図る。

### 実施状況

平面図



水門の遠隔操作化



水門の転倒ゲート化



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
農業水利施設遠隔監視システムの整備	神奈川県	▶		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体  
**神奈川県**

- 鬼柳地区では、昭和38年に土地改良事業により農業用水路が整備されたが、宅地、商工業地等の開発が急速に進み、各所で湛水被害が多発し、農作物をはじめ、近隣住宅及び国道等の公共施設にまで被害を及ぼした。
- このため、農業用水路の改修により、排水機能の復旧を図り、農業経営の安定化、湛水被害の未然防止による地域住民の安全を図る。

## 実施状況

【鬼柳地区】

※青線:農業用水路 ※赤線:整備した箇所



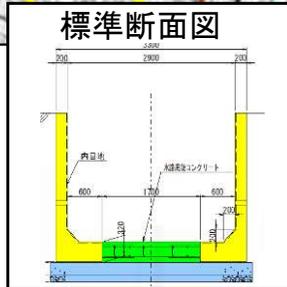
豪雨による溢水状況



水路整備の状況



基盤整備



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
湛水防除事業 (水路整備)	神奈川県	▶		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体  
神奈川県

- 森林の維持・造成を通じて、水源かん養機能等の森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため、必要な箇所について治山施設の設置や森林整備を行っている。

実施状況：松田町寄 治山事業

土砂流出状況



溪岸侵食状況



- ・ 当計画地は、令和元年10月の台風19号の豪雨により大量の土砂が流出した。
- ・ 溪岸侵食の拡大を防止し、溪流の安定を図るため、谷止工6基を施工した。

谷止工施工済み箇所

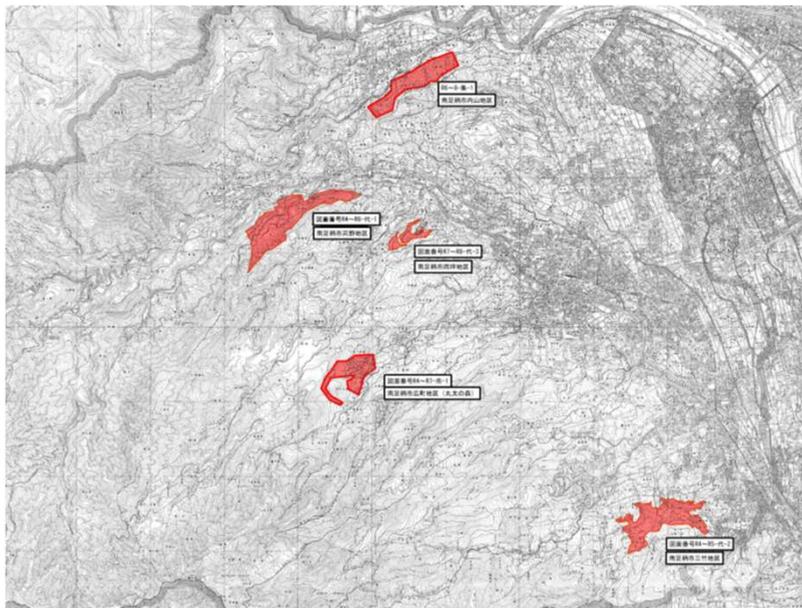


対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
上流域等の治山対策、森林整備	神奈川県	▶		

- 神奈川県が進めている「かながわ水源環境保全・再瀬施策大綱」との整合を踏まえ、地域の水源環境を保全する上で重要な地域水源林を計画的に整備して、水源かん養など森林の持つ公益的機能を向上させる。
- 現在は、第4期市町村5か年計画に基づき森林整備を進めている。

## 実施状況

### 位置図



第4期水源環境保全・再生市町村5か年計画  
(地域水源林整備)全体位置図



整備前



整備後

対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
地域水源林整備	南足柄市	▶		

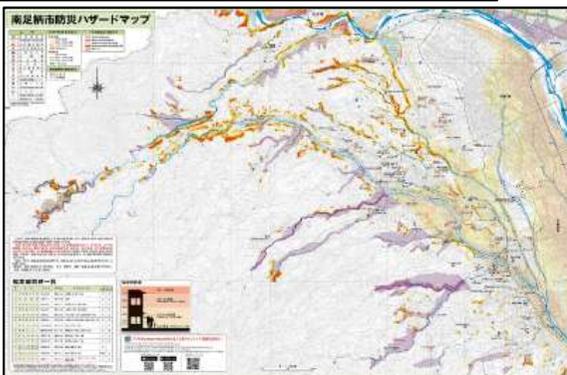
酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

南足柄市、東京神奈川森林管理署(林野庁)、神奈川県、松田町、山北町

- 激甚化する豪雨災害に対応するため内水による浸水危険度の周知や自助、共助の促進に向けたソフト対策として内水浸水想定区域図の充実を図る。
- 地域住民に対して内水による浸水危険度周知のため、防災ハザードマップの記事面に「マイ・タイムライン」を掲載、市職員による防災講話を実施することにより浸水被害減少に努めている。

## 取組内容

南足柄市防災ハザードマップ



南足柄市ホームページ【ミナミ・ナビ】



防災ハザードマップ記事面（抜粋）

防災講話



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
内水浸水想定区域の作成	南足柄市	▶		

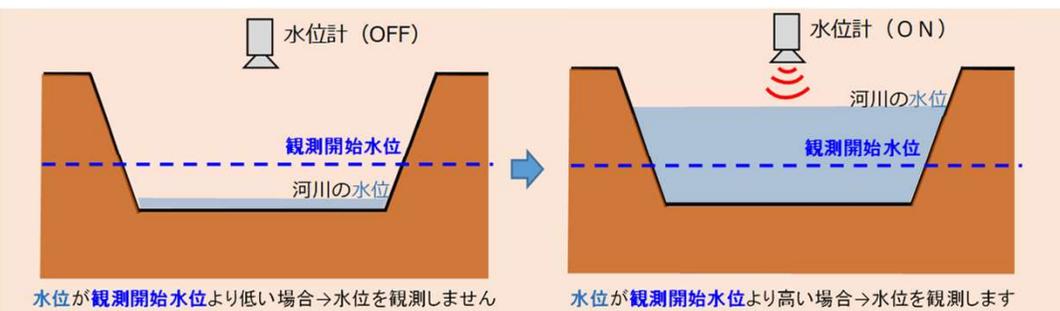
酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体  
南足柄市、秦野市

- 住民の適切な避難判断のための水位情報提供を目的に、これまで水位計の無かった箇所でも水位把握できるよう、洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計を設置することで、出水時の水位観測により避難体制の強化を図る。

## 取組内容

### ■危機管理型水位計とは

- ・ 洪水が発生した際に、河川周辺の住民の皆様が避難する際に、役立てていただくために設置する水位計。
- ・ 河川が未整備のため注意を要する箇所や、学校や病院など、重要な施設が周辺にある箇所に設置。



### ■危機管理型水位計の設置事例



危機管理型水位計  
(酒匂川永安橋)

### ■県ホームページから水位状況を確認することが可能



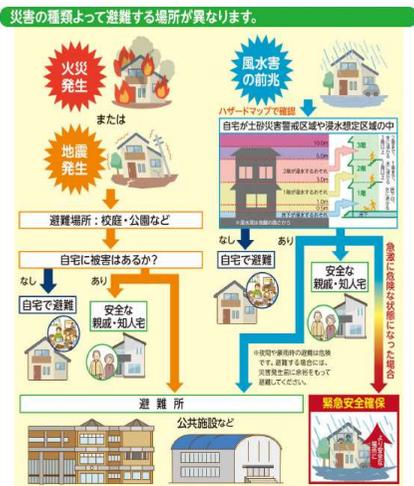
対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
危機管理型水位計・簡易河川監視カメラの設置	神奈川県	→		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体  
神奈川県

- 山北町が過去（平成26年）に作成した防災ハンドブックは、インターネットを使った災害気象情報の収集や避難情報の変更等の変化事項が反映できていない状況であった。
- 新しい防災気象情報、避難情報について掲載するとともに、混同しやすい風水害対策と地震対策を比較する要領で「防災ハンドブック（2024年度版）」を作成・全戸配付して、住民の防災意識向上を図った。

### 取組内容

- 令和7年3月に「防災ハンドブック（2024年度版）」を作成・町内全戸に配付した。特に避難行動を促すための啓発内容を重視して作成し、住民の防災意識向上を図った。
  - ・ 風水害と地震災害等を比較して、災害に応じた備えと避難要領を紹介
  - ・ 台風、大雨時の避難に関する基本的な考え方及び新たに設定した「車中泊避難所」について紹介
  - ・ 山北町地域における過去の災害発生事例を掲載
  - ・ 防災ハンドブックの内容に基づいて職員が各自治会で防災出前講座を実施して普及啓発を図っている。



防災ハンドブックの掲載内容(抜粋)

#### 台風・大雨のポイント

台風・大雨は危険な状態になる前に、避難を完了

Point: 避難所への避難準備は、土砂災害警戒区域や浸水想定区域に入っていない場所にある場合は、避難所に行く必要はありません。

#### 避難に対する基本的な考え方

● 避難は自ら判断を  
災害が発生したとき、置かれたその状況は一人ひとりが異なります。周りの人が避難しているから、自分も避難して大丈夫だと思ってしまうのは危険です。それぞれの状況や判断し、適切な避難行動をしなければなりません。

#### 車中泊避難所

町は、山北町パークゴルフ場の駐車場を「車中泊避難所」として大雨・台風警報や災害時に開放します。「避難所でもパーソナルエリアを確保したい」、「ペットと一緒に避難したい」などの場合は、車中泊用避難用品を自身で準備いただき、山北町パークゴルフ場駐車場への避難をご検討ください。

※トイレや水道はパークゴルフ場の設備を使用できます。  
※毛布や食料などの避難用品は、ご自身で準備願います。

各自治会へ出向いての防災出前講座の実施



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
防災教育や防災知識の普及	山北町	[Progress bar showing completion]		

- マイタイムラインの作成を普及させ避難行動をあらかじめまとめておくことで、大雨、台風などの自然災害から身を守るため、マイタイムラインの普及啓発を図っている。

## 取組内容

- 防災講座、防災講演会を開催  
マイ・タイムラインについての説明や作成方法について、マイ・タイムラインに関する知識・理解を深める場の提供している。

防災講座



防災講演会



- 地域防災リーダーの育成  
自主防災組織の活動促進を図り地域でのマイ・タイムラインの普及に繋げている。

技能の実地



マイ・タイムライン



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
マイタイムラインの取組推進	開成町	▶		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

開成町、小田原市、秦野市、南足柄市、大井町、松田町、山北町

- 過去に溢水や越波の被害があった市が管理する河川・水路及び海岸に防災用監視カメラを設置している。
- 大雨や台風の際に、自宅付近や通行予定の道路状況などをチェックし、被害を避けて自主的な避難などの参考となるよう、市のホームページや国交省ホームページで公開している。

## 取組内容

### ■ 監視カメラの設置状況



井細田排水路



山王川河口

### ■ 市ホームページや国交省ホームページから河川や海岸の状況を確認することが可能



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
河川・海岸監視カメラの設置	小田原市	▶		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体  
神奈川県、小田原市

- 令和4年8月に告示された酒匂川上流洪水浸水想定区域図（足柄橋より上流域）及び山北町内の土砂災害警戒区域の一部修正状況を受けて、令和6年2月に新たに「酒匂川流域土砂災害・洪水ハザードマップ」を作成した。

### 取組内容

- 酒匂川上流洪水浸水想定区域図（足柄橋より上流域）及び山北町内の土砂災害警戒区域の一部修正状況をハザードマップに反映した。
- 山北町外からの転入者や災害時応援部隊等に対する配布を前提として、地域内の特殊な地名（野背開戸（のせがいと）や湯触（ゆぶれ）等）にふりがなを併記した。
- 住所が不明確となりやすい災害発生場所の認識を一致させやすくするため、神奈川県災害対策地図や自衛隊が使用する地図と同じ「UTM座標」を表記するとともに、著名な建物、橋や沢の名称を記載した。



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
ハザードマップの改良、周知、活用	山北町	▶		

酒匂川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体  
山北町、小田原市、秦野市、南足柄市、大井町、松田町、開成町